

一般質問通告書

受領日時 令和2年6月1日 (午前) 午後11時30分 6番 氏名 荒川 滋

質問項目	質問の要旨
1 新型コロナウイルス感染症対策について	(1) 収入減に直面している住民が存在している。子育て世帯や事業所支援の他に、個人への経済支援策として地元資本の事業所で使える商品券の発行を検討すべきではないか。 (2) 町が発表したコロナ禍での避難所運営方法。縁故者宅に避難の場合、情報伝達と支援物資配布の仕組み作りはできているか。 支援物資の有無と、指定避難所までの避難経路の確認を含め今一度周知を。
2 町内会活動の活性化と町民参加、主役の町政で郷土愛の醸成を	(1) 各種事業や行事の中止により地域住民の絆が薄れている。町内会は地域コミュニティと防災上、重要な組織だが、人口減少と高齢化により活動が困難になっているところがある。有効な解決策として統合が必要と考えられる町内会があり、町が助言し進めるべきではないか。 (2) アパート居住などで町内会に属していない住民に町配布物を届ける仕組み作りが必要だ。 (3) 町長への手紙の実状。(件数、主な内容、返答内容) (4) 道路の破損状況などの情報提供を無料通信アプリ LINEで行う仕組み作りを。(町民参加の町政) (5) 今こそ郷土愛を高めたい。産業と観光の振興に資するとともに食文化の継承と郷土愛醸成のためにも、地酒で乾杯条例を定めては。五城目産の器(陶器・木器)も含めて。 (6) 町内飲食店、温泉施設、ともに五城目町にとって大事な施設であった。民間事業所ではあるが、町として何らかの手立てはないか。
3 森林環境譲与税	(1) 昨年度設置した五城目町森林経営管理協議会、これまでの協議内容。 (2) 自伐型林業を進めたいが人材確保と育成が必要。特定地域づくり事業の推進に関する法律施行に合わせ、特定地域づくり事業協同組合を立ち上げ、林業を活かした人材と雇用の発掘をしては。 (3) 姉妹都市である千代田区とも連携し体験型の森林整備と当町産木材利用PRの更なる推進を図るべき。

<p>4 コロナ禍で地方が注目されている今、空き家利活用と移住定住の推進を</p>	<p>(1) 空き家利活用と移住定住の推進にあたる地域おこし協力隊はまだ採用までには至っていないが、これまでの状況は。事業に影響は出ていないか。</p> <p>(2) 空き家借り上げ・再生・活用事業、相談窓口設置、空き地バンクなどこれまでより踏み込んだ施策が必要。場合によっては官民連携も必要になる。</p> <p>(3) 5月31日にオンライン全国移住フェアが開催されたが、同様の移住促進事業に積極的に出展参加すべき。</p>
---	--